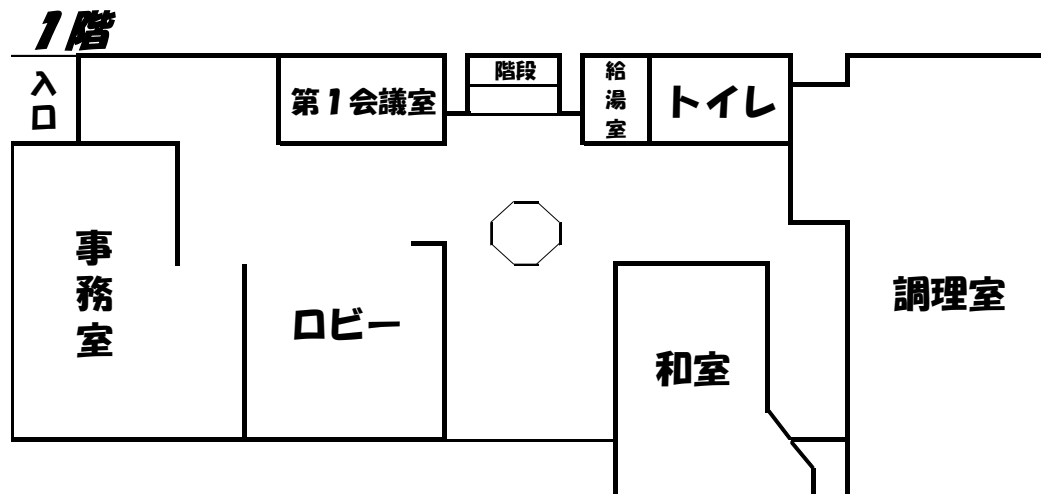


第3回 大宮駅東口駅前賑わい拠点まちづくり懇話会

(2)公民館のあり方について

1 実施方針における大宮中部公民館の方向性

現・大宮中部公民館の概要



建築年月日：S.53(1978).3.25

敷地面積：471.59m²

延床面積：610.63m²

実績（令和6年度）

登録団体数 633団体

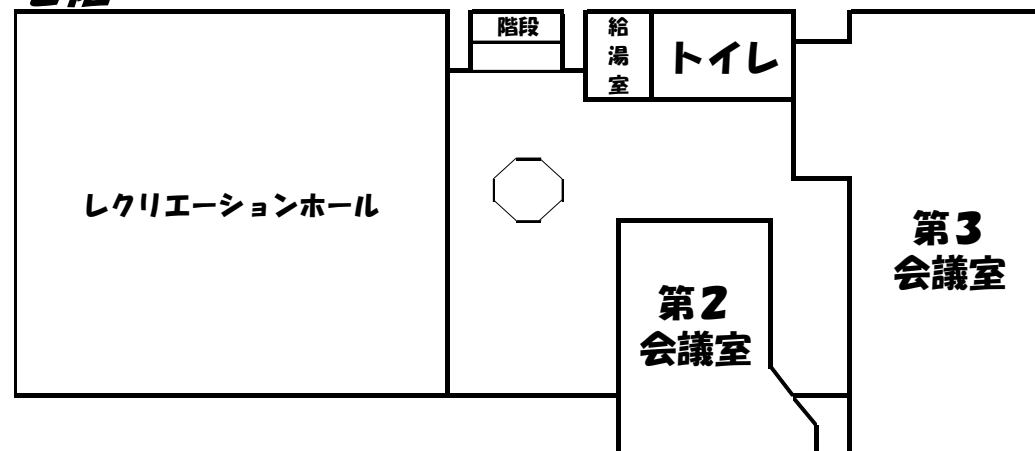
利用延回数 4,301回

うち主催事業 36事業111回

延利用者数 32,085人

うち主催事業参加者数 3,092人

2階



(1) 国の方針

「第4期教育振興基本計画」

「第4期教育振興基本計画」

(令和5年度～令和9年度)

■教育振興基本計画におけるコンセプト

「持続可能な社会の創り手の育成」

「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」

■教育振興基本計画における5つの基本的な方針

- ①グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
- ②誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進
- ③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
- ④教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進
- ⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話

➡③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

- ・持続的な地域コミュニティの基盤形成に向けて、公民館等の社会教育施設の機能強化や社会教育人材の養成と活躍機会の拡充
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協同活動の一体的推進、家庭境域支援の充実による学校・家庭・地域の連携強化
- ・生涯学習を通じた自己実現、地域や社会への貢献等により、当事者として地域社会の担い手となる

◎16の目標と基本施策、指標

⑧生涯学び、活躍できる環境整備

- ・大学等と産業界の連携等によるリカレント教育の充実
- ・働きながら学べる環境整備

⑩地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進

- ・社会教育施設の機能強化
- ・社会教育人材の養成・活躍機会拡充
- ・地域課題の解決に向けた関係施設・施策との連携

(2) 本市の方針①

「第2期さいたま市教育振興基本計画
～人生100年時代を豊かに生きる「未来を
拓くさいたま教育」の推進～」
(令和元年度～令和10年度)

■4 《基本理念》 人生100年時代を豊かに生きる 「未来を拓くさいたま教育」の推進

基本的方向性① 12年間の学びの連続性を生かした「真の学
力」の育成

基本的方向性② グローバル社会で活躍できる豊かな人間性
と健やかな体の育成

基本的方向性③ **人生100年時代を輝き続ける力の育成**
<施策展開>

○ **生きがいを持ち、生涯にわたって質の高い学びを続けら
れる環境を整備する。**

○ **人生を豊かに生きるために、学んだことを生かして活躍
できる環境を整備する。**

基本的方向性④ スクール・コミュニティによる連携・協働
の充実

基本的方向性⑤ 「未来を拓くさいたま教育」推進のための
基盤整備

「さいたま市公民館ビジョン」 (令和3年度～令和10年度)

◇1 公民館の宣言

地域の未来をあなたと

公民館は、「**地域の未来をつくる学びの拠点**」となります。

◇2 公民館が目指す方向性

にぎわいから学びをつかみ地域とのつながりをはぐくむ場

「地域の未来をつくる学びの拠点」として公民館は、新しい時代の新たな学びを導入し、学習団体、サークルや地域の団体の活動に、地域住民が参加し学び合うことで、交流を深める場となります。さらに、公民館は、地域住民が気軽に集うことで「にぎわい」を生み、多様な人々が魅力を感じる学習テーマから、自発的に学びを「つかむ」場となり、課題を解決するために「学び合い、認め合い、支え合う」関係が自然に生まれるような「つながり」をはぐくむ場となります。これらのことを実現するために、学びをプロジェクト化し、これからの地域づくりに寄与します。

⇒「さいたま市地域づくりプロジェクト」

(2) 本市の方針②

「さいたま地域づくりプロジェクト」の概要

1 人づくり

人々の学びのきっかけをつくり、魅力あふれる様々な学びの場となります。

・ 市民のニーズや社会の変化に対応した学びの提供

- ・ 高度で専門性を生かした学び直しの場の提供
- ・ オンライン化の促進による新たな学びの提供
- ・ ICT技術を活用するための情報格差解消の支援

・ 誰もが使いやすく居心地の良い学びの場づくり



2 つながりづくり

誰もが気軽に立ち寄れる、地域住民のつながりの場となります。

・ 学び、つながりを求める地域住民への情報提供

- ・ 学びで結ばれた仲間の活動成果を発表できる場づくり
- ・ 地域住民同士の新たな交流の場づくり
- ・ あらゆる世代が地域と交流できる場づくり

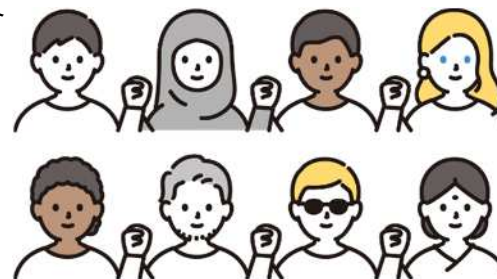


3 地域づくり

地域を共につくり、暮らしを助け、地域課題を解決する拠点となります。

・ 地域活性化・地域づくりの拠点としての役割強化

- ・ 地域団体との交流や地域での活動の支援
- ・ 地域住民による地域課題の解決
- ・ 安全・安心に向けた自発的行動のための学習支援



さいたま地域づくりプロジェクトの推進体制

公民館職員は、地域住民とコミュニケーションを図る力や、学びと活動が循環するようコーディネートする力の向上に努めます。

(3) 現状について

大宮中部公民館の活用状況

○部屋の貸し出し・展示



自主的な各種サークル活動のほかに、地域にある小・中・高校の児童生徒の作品を展示しています。

○サークル活動の支援



文化祭での発表のほか、サークル活動体験会を実施しています。

○講座等の開設



あらゆる世代が「気軽に」・「楽しく」・「何度でも」学ぶことができる主催事業や、中学生がボランティアを務める講座等を実施しています。

○要配慮者優先避難所としての機能

災害時に要配慮者(障害者、高齢者、乳幼児その他の特に配慮を要する方)を優先して受け入れる施設です。



(4) 実施方針より

実施方針の「基本的な考え方」、「導入機能のイメージ」、「公共施設の整備方針」

■基本的な考え方

「大宮小学校と大宮中部公民館の複合化」

■導入機能のイメージ

「まちに対してひらかれた小学校・公民館でありながら、豊かな環境と安全性を兼ね備えた機能」

■公共施設整備方針

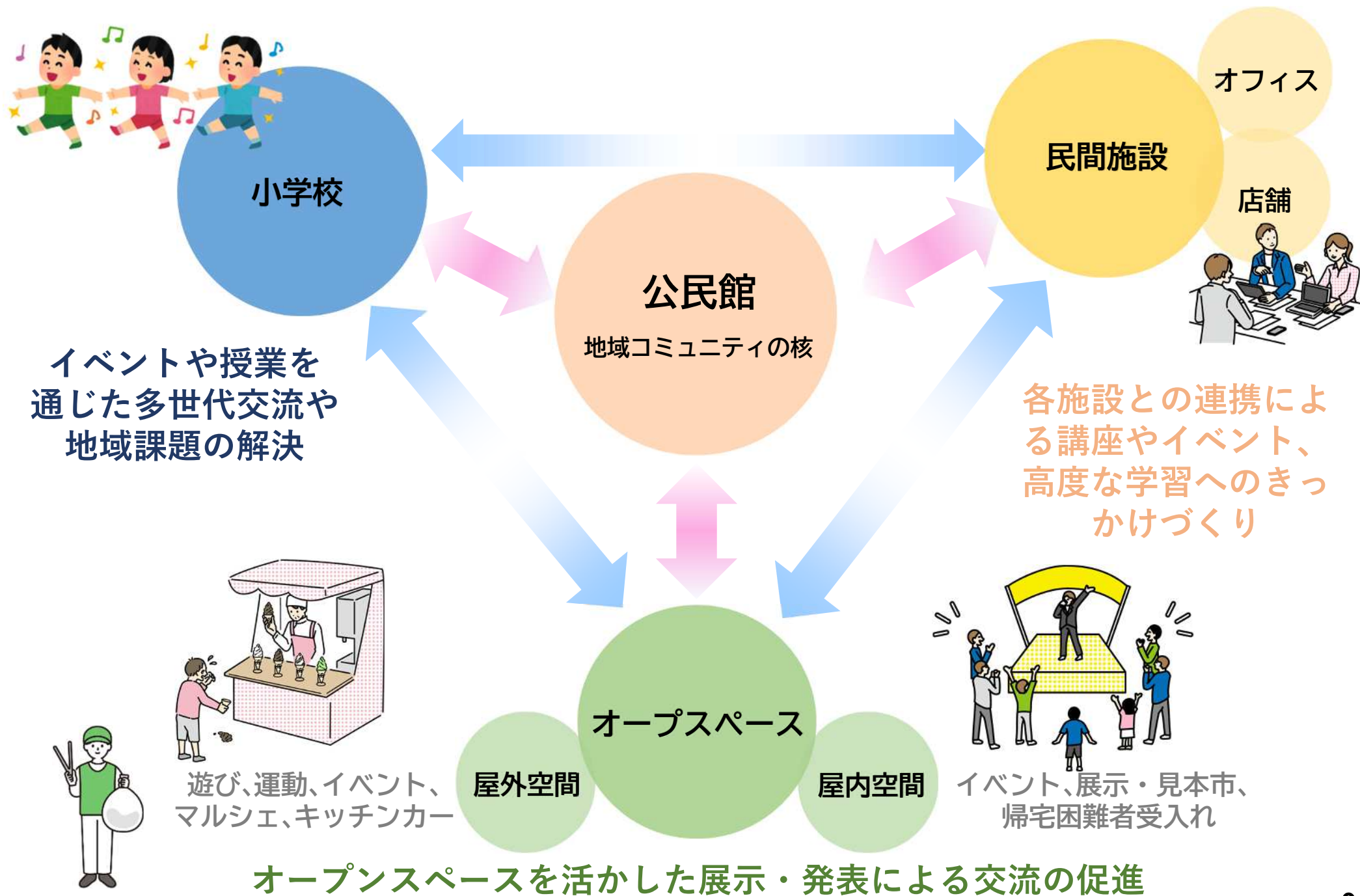
●大宮小学校

- ・都市空間に位置する小学校としての整備
- ・教育上支障がない範囲で学校敷地の有効活用を柔軟に検討
- ・将来的な児童増や、改修時の教室の仮移転などに対応するため、民間等との連携についても検討
- ・体育館や特別教室等については児童の安全確保を前提とした地域への開放を検討

●大宮中部公民館

- ・小学校の建替えと合わせて複合化することで、小学校と一体的な生涯学習の場を目指す。
- ・公民館が小学校や民間施設、ひろば空間と連携して活動の場を広げることで、地域・社会交流等を促進

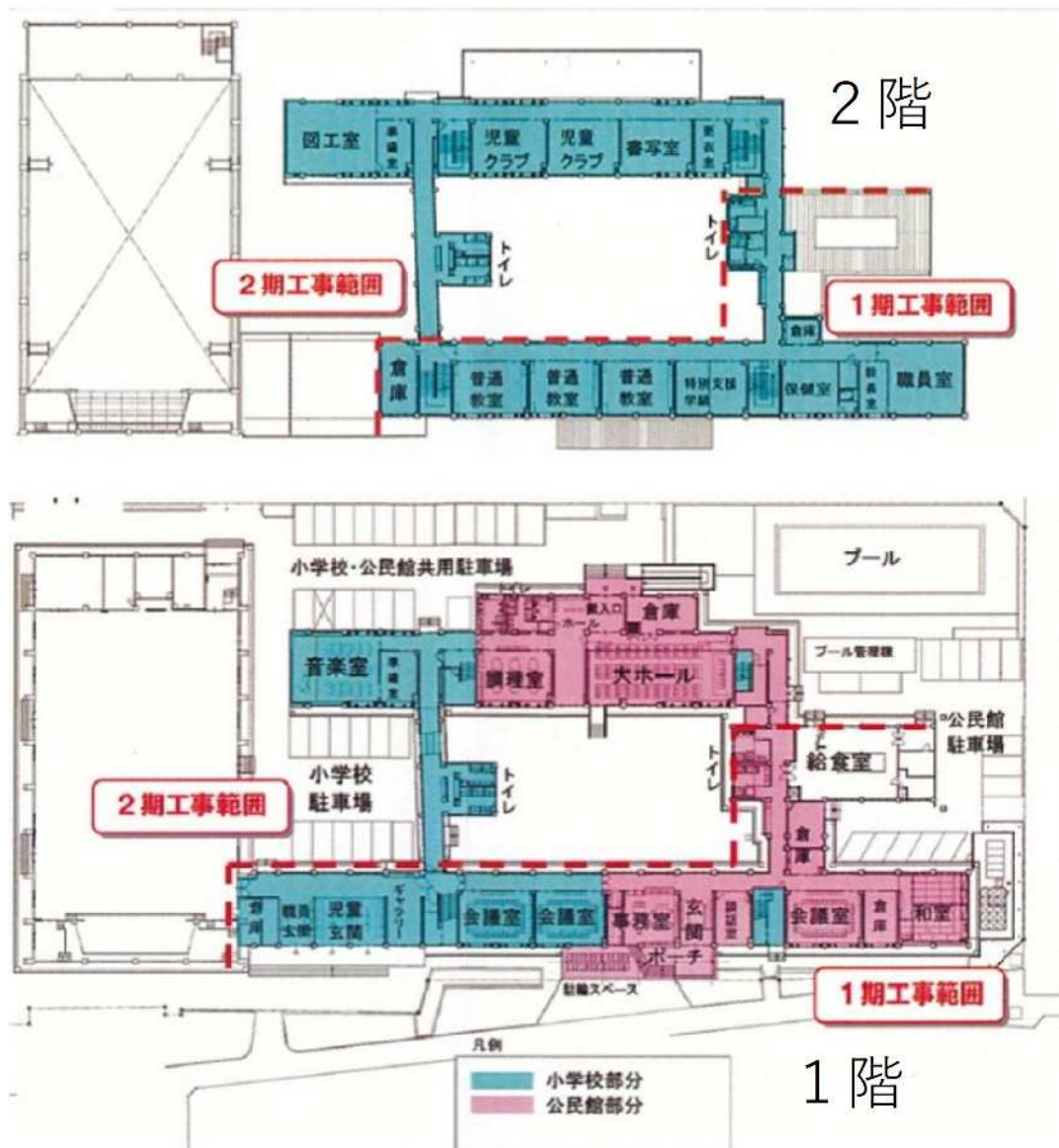
(5) 大宮中部公民館の導入機能の方向性



(6) 他市事例①

順化小学校・順化公民館（福井県福井市）

- ・3階建校舎のうち、高齢者らも利用しやすいように1階に公民館を配置。玄関はバリアフリー化してスロープを設けた。小学校は2、3階に配置し、普通教室は日当たりがよく騒音の少ない南校舎に集約し、道路に近接した北校舎には特別教室や児童クラブ等を配置。
- ・会議室や調理室については学校と公民館の共有で運用している。
- ・複合化にあたり、児童の安全確保のために防犯カメラを増設するなどの防犯対策を講じ、共用で利用する部屋の運用や管理主体等についても関係者の意見をすり合わせながら改修事業を進めた。
- ・公民館で活動する自主グループが小学校活動で指導にあたるなど、地域と一体になった社会教育を目指し、教育環境の向上と地域コミュニティとの接点をつくり上げた。



(6) 他市事例②

学校施設と社会教育施設等との複合化事例

- 同じ敷地内に、小学校とホール、会議室、調理場といった社会教育施設を併設させ、地域コミュニティの核を形成している。
- 地域住民の学習の拠点として、またこれらの施設での活発な活動による地域住民と児童との交流の場として機能している。

ホール



社会教育施設のホールとして、地域におけるイベントで利用する一方、式典の会場等として学校の行事においても利用している。

会議室



町内会等での会議や、子ども会等で利用している。



福岡県嘉麻市立下山田小学校

調理場



和室



ホールに調理場・和室等を併設しており、学校の家庭科の授業やクラブ活動等で利用している。